

CIRJE Newsletter

東京大学大学院経済学研究科附属日本経済国際共同研究センターニュースレター

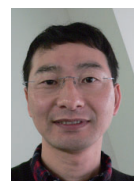
No.31

2023 年 4 月

Center for
International Research on the
Japanese Economy (CIRJE)
Graduate School of Economics,
Faculty of Economics
The University of Tokyo

センター長ご挨拶

青木浩介



日本経済国際共同研究センター（Center for International Research on the Japanese Economy, 通称 CIRJE）は、1998 年 9 月に東京大学大学院経済学研究科の附属センターとして発足しました。CIRJE では「日本経済に関する国際共同研究」を中心に、基礎的研究と、現実経済が直面する緊急課題の双方に対応すべく鋭意努力しています。

CIRJE の主要な任務は、国内外の研究者を招聘し、共同研究や研究会の場を提供することを通じて、最先端の研究情報を交換し発信することです。新型コロナウイルス感染症流行の影響もようやく少なくなり、研究者招聘や東京大学を会場としたコンファレンスの開催を再開することができるようになりました。むしろ、引き続き対面とオンラインのハイブリッド形式を採用することにより、コロナ感染症拡大以前よりも広く参加者を募ることができるようになっています。今年度も、昨年度以上に研究者招聘やコンファレンスの開催に力を入れようと考えております。

CIRJE では、ミクロ経済学ワークショップ、マクロ経済学ワークショップなどさまざまなワークショップを定期的に主催しており、そこでは常時最新の研究が報告され、議論されています。昨年度は海外からのべ 77 名の報告者が、論文発表を行いました。前述のようにハイブリッド式の利点を活かし、通常ならば来日が難しい研究者の研究発表や、学外からのワークショップ参加者が増えています。また、国内外から 40 名の研究者が客員教授、海外客員や短期客員研究者として、CIRJE を訪問・滞在し、共同研究を行いました。また、CIRJE は数多くの研究プロジェクトを助成しております。なお、これらの活動を通じて得られた研究成果は、ディスカッションペーパーとして随時ホームページに公開しております。

国際的な学術会議も東京大学で開催できるようになりました。その一つとして、3 月 4、5 日開催の米国 National Bureau of Economic Research (NBER), 欧州 Centre for Economic Policy Research (CEPR), 東京経済研究センター (TCER) 共催の「TRIO Conference on Digital Economy and Finance, 2023」があります。このコンファレンスでは、米国、欧州、日本の研究者が一堂に会し、近年発展の目覚ましい情報技術や電子決済手段、デジタル貨幣が経済と金融に与える影響についての研究発表をしました。

今後とも、日本における中核的な研究拠点として内外の研究者に対して最新の情報や共同研究の場を提供していく方針です。CIRJE の今後の発展に向けて関係各位から一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

CIRJE Newsletter

目次

センター長ご挨拶

客員研究者紹介

CIRJE
ディスカッション
ペーパーシリーズ

客員スタッフ

スタッフ

客員研究者紹介

当センターには、研究者を受け入れるための複数のポジションがあり、世界各地から研究者にご来訪頂いております。「短期客員研究者」に関しては、公益財団法人野村財団からのご寄付により、国内外から多彩な研究者の皆様をお招きしております。今回は、2022 年度にお越し頂いた「客員教授」「短期客員研究者」の皆様に、滞在時の活動内容をご報告頂きました。

客員教授

Department of Economics
The Pennsylvania State University

Marc Albert Bertrand Henry



CIRJE への訪問はパンデミックの影響で何度も延期を余儀なくされましたが、下津克己先生や CIRJE の皆様のお力添えのおかげで 2022 年春にようやく実現しました。厳しい監視下とマスコミが注目する中で、限られた外国人観光客が日本への入国を許可されたのは私が訪問してから数週間後でしたので、私はそれ以前に入国を認められた数少ない幸運な外国人の一人として非常に光栄に思いました。多くの入国要件をクリアし、出発前後の COVID 検査を終え、空港で長蛇の列に耐えた後、ついにたどり着いた日本、東京、そして大学はコロナ禍でも賑やかで活気にあふれていました。

一部のセミナーはまだオンラインで行われていましたが、経済学研究科の先生方や大学院生の皆さんと対面で有益な会議を重ねることができました。また、CIRJE の素晴らしい宿泊施設、そしてスタッフのご支援により、最適な環境で 2 つのテーマに取り組むことができました。最初のテーマでは、労働市場における人材の不適切な配置に関して Roy モデルの一部を特定し、その推論を立てました。特に数学関連分野で女性が不足している原因についての洞察を得ることに関心がありました。そして 2 つ目のテーマでは、多変量分位数とローレンツ曲線に基づくベクトル依存性と多属性不平等の尺度を構築しました。

大変ありがたいことに、私は新しい目白台インターナショナル・ビレッジに宿泊することができました。美しいカトリック関口教会を訪れ、東京大学で教鞭をとられた建築家・丹下健三氏によるモダニズムの傑作・東京カテドラル聖マリア大聖堂・、そして永青文庫と鳩山会館のすぐ近くでは椿山荘の伝統的な庭園と塔が互いに向かい合う景色を楽しみました。私にとってのもう一つの発見は、旧東京中央郵便局舎を美しく改装し、東京大学のコレクションを展示している素晴らしい新たな博物館、「インターメディアテク」でした。今回の訪問も非常に刺激的で実りあるものになりました。そして、また温かく迎えてくださった CIRJE の皆様、そして研究員とスタッフの方々に心から感謝いたします。

客員准教授

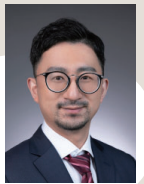
信州大学経済学部

青木周平



福田慎一先生にお声掛けいただき、2022 年度後半に CIRJE で研究する機会をいただきました。ホストで共著者の楢井誠先生とも、この機会に打ち合わせを行い、アメリカの金融部門の成長に関する共同研究をほぼ完成までつなげることができました。また、経済学研究科の先生方とも、短い時間ながら、議論する機会をいただきました。CIRJE のスタッフの皆様にも、滞在期間中に大変お世話になりました。さらに、福田先生には、この金融部門の成長に関する研究を日本政策投資銀行で開かれた金融班月例研究会で発表する機会をいただきました。研究会では、金融班の先生方と議論することができ、いただいたコメントにより、論文を改善することができました。皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。

滞在中に取り組んだ研究では、1980 年代以降のアメリカの金融に関係し起きた変化を定量的に説明する動学的一般均衡モデルを構築しました。1980 年代以降、アメリカの金融部門の付加価値や金融資産 -GDP 比も上昇しました。これには、インデックス・ファンドの登場など 1970 年代以降に起きた金融イノベーションが寄与していると指摘されています。こうしたイノベーションは金融取引のコストを下げるはずですが、金融資産 1 ドル当たりの金融仲介コスト (unit cost of finance) は低下していません。研究では、投資信託のコストの低下や税制の変化により、これらの事実をある程度説明できることを分析しました。



2022年7月、私は東京大学の日本経済国際共同研究センター（CIRJE）を訪問し、野田俊也氏と暗号通貨論文の共同研究を行いました。この論文の目的は、Proof-of-Work型暗号通貨のマイニング市場におけるマイナー獲得競争のモデルを作り、パラメータをデータで推定することで、暗号通貨の難易度調整アルゴリズムの選択がマイニング市場の安定性とどのように関係しているかを理論的・実証的に明らかにすることでした。この訪問は、野田氏や他の研究者とアイデアや知識を交換する良い機会でした。

CIRJE 訪問から得られた最も重要なポイントの1つは、コラボレーションの重要性です。野田氏や他の研究者と協力することで、ブロックチェーン技術と暗号通貨に関する知識やアイデアを共有することができました。この共同作業により、今回の研究のみならず、今後の研究の方向性についても議論を深めることができました。CIRJE を訪問し、野田氏と暗号通貨論文の共同研究をすることは、貴重で有意義な経験でした。CIRJE の訪問は、貴重な学びの機会であり、今後も野田氏や他の研究者と協力し、研究を進めていきたいと思っています。



2022年8月17日（水）～8月30日（火）、公益財団法人野村財団奨学研究員として CIRJE を訪問しました。`Transmission of Housing Bubble among Industrial Sectors というテーマで 2020 年度 CIRJE 短期客員研究者を申請しましたが、コロナで2年遅れて実現しました。中国住宅バブルが住宅関連産業への過剰投資を齎したの（Industrial Investments and Housing Prices in China by Junmin Wan and Qiqi Qiu, International Review of Economics and Finance, Vol. 84, March 2023, pp. 932-852）を説明しようとしたものです。新古典一般均衡モデルと投入産出表を結合し、バブルが住宅関連産業の過剰投資とそれ以外の産業の過少投資、即ち一般消費財の需要不足を齎すのを明らかにし、2005-2020年の中国の住宅価格と消費者物価（CPI）、及び、日本の1984年-1987年の土地価格とCPIが有意に負に相関していたことを説明しました。1980年代の日本国内需要不足原因である円高不況説に、投機的資産売買そのものが需要不足を引き起こすという新たな視点を提示しました。バブル中の不況を打破するため、金利下げを含む金融緩和策が行われ、資産バブルが助長し結果的にバブル崩壊に繋がりました。投機的資産売買の弊害に対する学術面と政策面の認識が乏しかったのではないかと危惧しており、低金利政策がいかに需要不足を引き起こすかを CIRJE 滞在期間に `Backward-bending Investment-Saving Curve` というワーキングペーパーの作成を試み、1994-2021年の日本の実質GDPと実質金利が有意に後方屈曲していたことを説明しました。また、滞在前の2022年2月18日（金）に恒大のようなディプロッパーの投資行動を説明する `Tripple Bubbles of a Single Firm` を遠隔セミナーで報告しました。

CIRJE は非常に便利な所に立地している割にはとても閑静で、土日祭日24時間使用可能、かつ、清滝信宏先生 (Princeton University) のような著名な学者のセミナーが常態化していますので、大変良い研究空間を提供しています。お招きと有益な議論を下さった福田慎一先生、研究支援室の皆様、そして、滞在資金を提供してくださった公益財団法人野村財団に大変お世話になり、ここを借りて感謝を申し上げます。



私は2023年1月にCIRJEを訪問しました。幸いにも日本は数か月前に国境を開放していましたので家族を伴って渡航することが叶い、滞在中は素晴らしい経験を得ることができました。滞在中は常にキャンパスで過ごしていましたので、都市経済学のワークショップで研究を発表し、経済学研究科の先生方やCIRJEの皆さんと興味深い対話を楽しませていただきました。私のホストとして今回の訪問の手配をしてくださった小川光先生、そして有益な議論に時間を割いてくださった別所俊一郎先生に心から感謝申し上げます。また、CIRJEのスタッフの皆様には訪問前から大変親切にいただき、東京とその周辺での生活を楽しむためのアドバイスをいただきました。研究環境も素晴らしく、オフィスは非常に快適で必要な設備もすべて整っていました。CIRJEでの滞在中は、日本の自治体財政に関する問題、特に東日本大震災への財政対応についての分析を小川先生と別所先生と共に開始しました。今回の初めての訪問がこれからの長い共同研究の始まりとなることを期待しています。さらに、私が行った自然独占に対する規制と制裁回避者に焦点を当てたセミナーでも多くの成果が得られ、いただいた多くの建設的なコメントや提案は既に論文に反映されています。

CIRJE ディスカッションペーパーシリーズ

http://www.cirje.e.u-tokyo.ac.jp/research/03research02dp_j.html

当センターでは2つのディスカッションペーパーシリーズ（Jシリーズ：日本語、Fシリーズ：外国語）を刊行しており、2022年4月から2023年3月の期間で、Jシリーズ2件、Fシリーズ19件が刊行されました。発行されたディスカッションペーパーは上記のホームページからダウンロードすることも可能です。

客員スタッフ

当センターの重要な役割の一つに、海外からの研究者の受け入れと研究交流促進があります。国内外の優秀な研究者を様々な分野からお迎えして研究活動を行っております。下記のリストは昨年度来訪された客員スタッフです（所属は在籍当時）。

客員教授

■ Marc Albert Bertrand Henry (2022.5.1 - 2022.7.4)
Department of Economics, The Pennsylvania State University, USA

■ 青木周平 (2022.10.1 - 2023.3.31)
信州大学経済学部、日本

短期客員研究者

- 村山 光太 (2022.4.25 - 2022.8.8)
Department of Economics, The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong
- Cheng Chen (2022.5.19 to 2022.6.17)
College of Business, Clemson University, USA
- 向山敏彦 (2022.6.14 - 2022.7.30)
Department of Economics, Georgetown University, USA
- Shengxing Zhang (2022.6.26 - 2022.7.17)
Department of Economics, London School of Economics and Political Science, UK

- 矢田紘平 (2022.6.30 - 2022.8.5)
Department of Economics, University of Wisconsin-Madison, USA
- 福井真夫 (2022.8.8 - 2022.8.31)
Boston University, USA
- Kateryna Redko (2022.9.1 - 2023.9.20)
National Academy of Science of Ukraine, Ukraine
- Leslie Hannah (2022.10.17 - 2023.1.13)
London School of Economics (LSE), UK
- 柴田一平 (2022.11.16 - 2023.1.15)
Research Department, International Monetary Fund, USA
- Minji Bang (2022.12.19 - 2023.1.6)
Department of Economics and Finance, City University of Hong Kong, Hong Kong
- Carlos Velasco (2023.2.19 - 2023.3.5)
Department of Marketing, BI Norwegian Business School, Norway
- Tinna Laufey Asgeirsdottir (2023.3.7 - 2023.3.22)
Department of Economics, University of Iceland, Iceland

スタッフ

教授



佐藤泰裕



下津克己



高崎善人



青木浩介
(センター長)



福田慎一

顧問

- 岡野貞彦 (公益社団法人経済同友会事務局長・代表理事)
- 翁 邦雄 (大妻女子大学特任教授)
- 加藤淳子 (東京大学法学部・大学院法学政治学研究科教授)
- 清滝信宏 (プリンストン大学経済学部教授)
- 宮尾龍蔵 (神戸大学大学院経済学研究科・経済学部教授)

運営委員会

運営委員長

青木浩介 (センター長)

運営委員

粕谷 誠・澤田康幸・下津克己・谷本雅之・福田慎一

CIRJE Newsletter No.31

2023年4月

東京大学大学院経済学研究科附属

日本経済国際共同研究センター

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

tel +81-3-5841-5644 fax +81-3-5841-8294

<http://www.cirje.e.u-tokyo.ac.jp/indexj.html>